

第6章 防府市における公共交通の課題

まちづくりの方向性、本市を取り巻く環境、公共交通の状況、公共交通に関する各種調査結果から現状を分析し、本市における公共交通の課題を整理しました。

1. ネットワーク形成に関する課題

(1) 持続可能な公共交通ネットワークの形成

○人口減少・高齢化など、本市を取り巻く環境が変化している中で、持続可能な都市構造の形成が求められています。(p.4,5,9)

〔課題〕

①都市核と地域核を有機的に結ぶなど、コンパクトなまちづくりに資する公共交通ネットワークを形成する必要があります。

○モータリゼーションの進展等によって公共交通の利用者が減少しており、公共交通サービスを維持するための市の財政負担が年々増加しています。(p.10,22,28,34)

〔課題〕

②路線の効率化や利用促進等により財政負担の増加抑制に努め、持続可能な公共交通ネットワークとしていく必要があります。

○市中央部に医療機関・商業施設等の主な移動目的地が集中しており、各地域からの利用がみられますが、市中央部における主な移動目的地を効率よく結ぶネットワークがない状況です。(p.14,37,38)

〔課題〕

③市中央部における医療機関・商業施設等へのアクセスの利便性向上を図る必要があります。

○本市と山口市との間の移動をはじめとして、通勤・通学等で多くの人が市域をまたいで移動しています。(p.11~13)

〔課題〕

④通勤・通学などの日常的な移動や広域的な交流を支えるため、広域交通を維持することが必要です。

(2) 市民と来訪者の移動手段の確保

○本市の公共交通のネットワークは、防府駅を起点に様々な交通モードで構成されており、路線バス、鉄道、乗合タクシーでの人口カバー率は71.7%となっています。(p.16,17)

〔課題〕

⑤公共交通サービスが行き届いていない地域において、地域の実情に応じた移動手段の確保が必要です。

○市内には観光資源が点在していますが、特に防府天満宮、道の駅潮彩市場防府、まちの駅うめてらす、国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺への観光客が多い状況です。(p.15,48)

〔課題〕

⑥観光に適したバス路線の維持・確保が必要です。

○高齢者の運転免許保有割合が増える一方、免許返納者は増加しています。(p.10)

⑦自らの移動手段を持たない高齢者等に対する移動支援が必要です。

2. 利用環境に関する課題

(1) 公共交通の利便性の向上

○路線バス同士または路線バスと他の交通モードの乗り継ぎ改善が求められています。(p.29,40,51)

〔課題〕

⑧関係事業者の連携により、より良いダイヤ編成を行うなど、乗り継ぎの利便性向上を図る必要があります。

○バス停の待合環境の整備が求められています。(p.40,43,47)

〔課題〕

⑨地域や事業者と連携して、待合環境を整備する必要があります。

○路線や時刻表などの分かりやすさが求められています。(p.40,43,49)

〔課題〕

⑩公共交通に関する分かりやすい情報提供を行う必要があります。

○高齢化が進行する中、車両や施設などのバリアフリー化が求められています。(p.9,38,40)

〔課題〕

⑪車両や施設などのバリアフリー化を促進し、高齢者等が安心して利用できる環境づくりを進めていく必要があります。

3. 連携・協働に関する課題

(1) 関係者の連携・協働

〔課題〕

⑫市民、交通事業者、行政をはじめとする関係する主体が連携・協働し、一体となって公共交通の課題解決に取り組む必要があります。